



目的と手段

校長 柳沢 学

「手段が目的化する」ということを聞いたことはありますか。

目的とは最終的に目指す姿、手段はそのための方法です。

例えば、箱根駅伝で優勝した青山学院大学の原晋（はらすすむ）監督の指導を例に考えてみます。

原監督の指導法の特徴のひとつに、監督の考えを押し付けるのではなく、選手同士で徹底的に話し合わせて、選手自身がやるべきことを決めていることがあげられます。ただ単に監督の指示に忠実に従って言われたことだけをやるのではなく、選手自身がやるべきこととその理由を納得して取り組むことで、最終的な目的が明確になり、練習の効果が上がると言うことだと思います。もちろん、青山学院大学の取組には、ほかにも様々な要因はあるのですが、結果として、箱根駅伝優勝という形になって表れています。

では、どのチームでも選手同士で話し合いをすれば、優勝できるのでしょうか。

おそらく、単に形だけまねをして話し合いをしても優勝という結果にはなりません。まねをした人達にとっては、話し合いは手段ではなく目的になってしまっているからです。

さて、高校入試が目前に迫っている3年生にとって、高校入試あるいは志望校合格は目的ではなく手段だと言われても、そう考えるほどの心の余裕はないかもしれません。ただ、皆さんはすでに入試の関門をすでにくぐってきている経験者です。皆さんにとって、附属中に入ることは目的だったでしょうか。皆さんが附属中に入ってから今までを振り返ってみてください。もし、附属中に入ることで満足していたら、今の皆さんの姿はありません。附属中に入ってから、様々なことにチャレンジし、努力を続けてきたことで、学習した内容が身に付いたり、運動会や音楽発表会で多くの人を感動させたりすることができたのです。

昔話の花咲かじいさんでは、やさしいおじいさんは、拾ってきた子犬をかわいがったり、子犬の死を心から悼んだり、焼かれてしまった木の灰をせめて畑にまこうとしたりと、常に自分に関わる人（や犬）のことを考えています。一方、意地悪じいさんは、やさしいおじいさんの行為を真似することで、同じような結果を得ようとし、ことごとく失敗しています。ともすると、人は手段を目的化してしまいがちです。時折、じっと立ち止まり、自分はどんな目的のために何をしようとしているのかを考えてみたいものです。

第Ⅲ教育期・第Ⅳ教育期の「教育活動評価」について

12月に実施したアンケート結果についてお知らせします。今後、分析結果を基に指導の充実、改善に努めていきます。

【生徒アンケートより】 * () は、第Ⅰ教育期・第Ⅱ教育期との比較 単位：%

- 1 仲間とかかわり、自分の意見を交流させることで自分を高めている。
「そう思う」62%、「まあそう思う」36%…肯定的評価 98%(+1)
- 2 授業ではなぜだろうと疑問をもち、課題をもって取り組んでいる。
「そう思う」55%、「まあそう思う」41%…肯定的評価 96%(±0)
- 3 友達の良さを認め、協力して活動している。
「そう思う」76%、「まあそう思う」23%…肯定的評価 99%(+1)
- 4 学校や社会のきまり、マナーを守って生活している。
「そう思う」62%、「まあそう思う」34%…96%(-1)

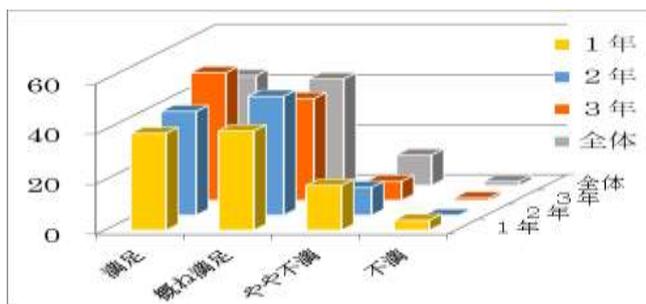


留学生との交流の様子

【保護者アンケートより】

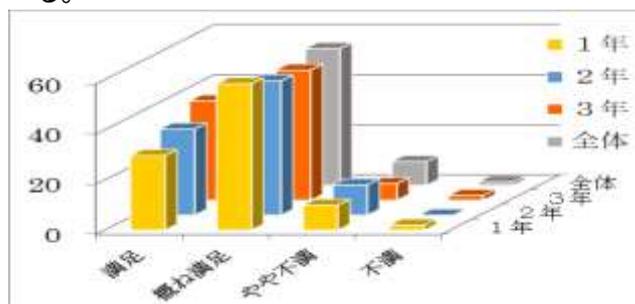
☆学習に関して

1 基本的な学習態度や学習習慣を身に付けている。



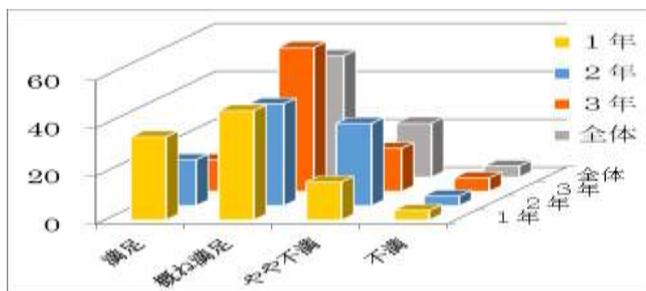
肯定的評価が 86%でⅠ・Ⅱ期と比べて+2%です。全体として良好な傾向にあります。今後も更に個に応じた指導の充実に努めていきます。

2 学んだ知識や技能を使うことに楽しさを感じている。



肯定的評価が 90%でⅠ・Ⅱ期と比べて+4%です。生徒の各教科のアンケート結果を参考にして、更に授業改善を図って行きます。

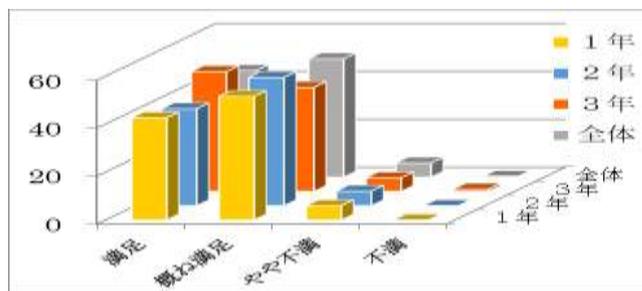
3 「いのち」で学んだ生命や安全をめぐる事柄について、家庭でも追求したり、話題にしたりしている。



肯定的評価が 73%でⅠ・Ⅱ期と比べて+2%です。特に1年生の肯定的評価が81%と高く、福島での「研修旅行」を含めた学習を、生徒の姿を通して保護者の皆さんから高く評価していただきました。今後も「いのち」での学びの姿を、積極的に発信していきます。

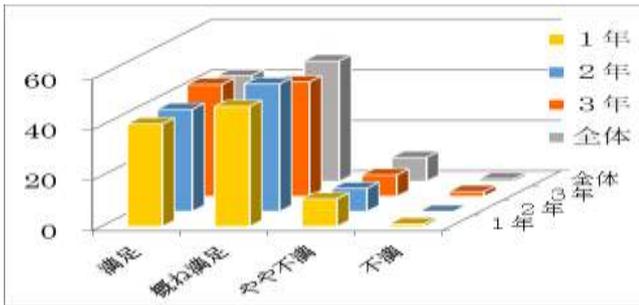
☆生活に関して

4 他者に対して、思いやりの心をもって生活している。



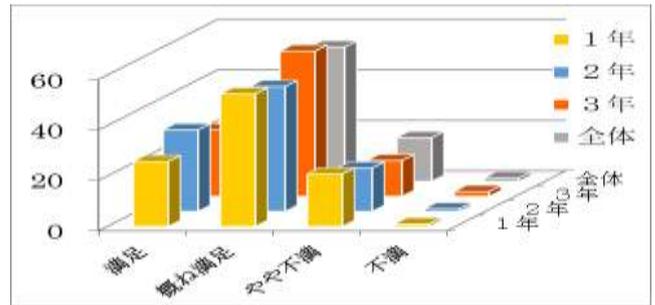
肯定的評価が 93%でⅠ・Ⅱ期と同様な傾向です。現在、生徒を取り巻くコミュニケーションの手段や場面は多様で常に変化しています。人間関係の基盤づくりとして、「道徳」の時間等を中心に、コミュニケーションスキルの向上や思いやり・他者理解の心情の醸成を図っていきます。

5 「自分にはよいところがある」といった自尊感情をもって生活している。



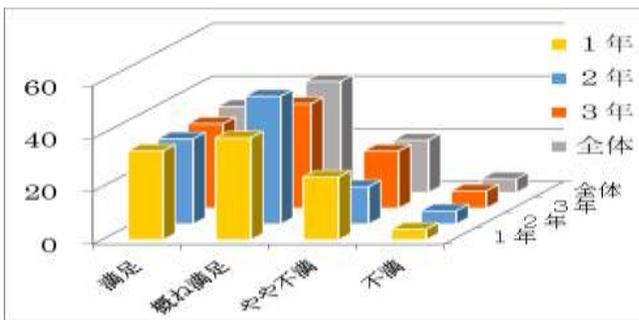
肯定的評価が90%でI・II期と同様な傾向です。一方、心配する意見もいただきました。教職員みんなで生徒の姿からよさを見取り、積極的に価値付けることで自信をもたせて伸ばしていきます。

6 生活習慣の改善を図り、健やかな生活を送っている。



肯定的評価が81%でI・II期と同様な傾向です。しかし、学習面の疲れやゲームやインターネットによる生活の乱れを心配する意見も多くいただきました。生徒自ら規則正しい生活を意識できるように今後も継続して指導していきます。

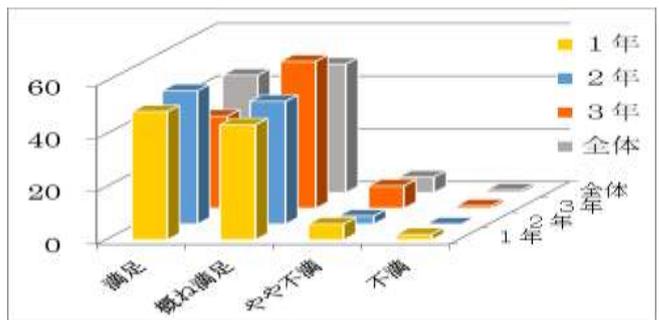
7 パソコンや携帯電話、スマートフォン等の使い方やインターネットの利用について、家庭での約束をきちんと守っている。



肯定的評価が75%でI・II期と同様な傾向です。今年度、公安委員会を中心に生徒みんなで「メディア利用に関する私たちの心掛け」を作成しました。是非、各家庭で、我が家のルールについて話し合いを進めてください。

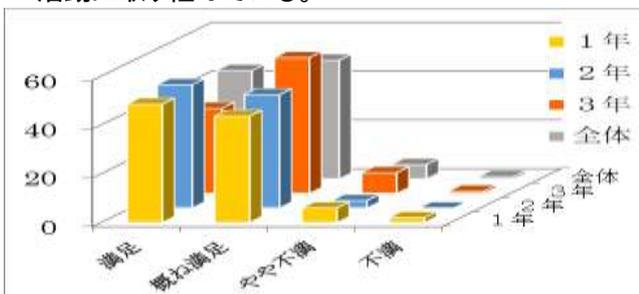
☆学校職員とのかかわり

8 学校は教育方針や学校経営方針、学校の様子を保護者会や学校だより等で積極的に情報公開している。



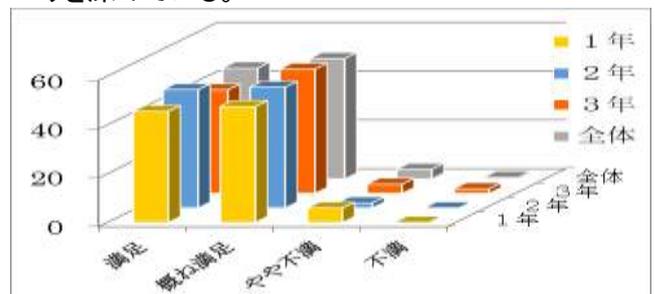
肯定的評価が91%でI・II期と比べて-4%です。特にHPにおいてもっと写真を充実させてほしいという意見をいただきました。今後、更に学校の取組が広くPRできるように、保護者や地域への発信に努めていきます

9 学校全体の雰囲気がよく、生徒が生き生きと学習や諸活動に取り組んでいる。



肯定的評価の割合は93%でI・II期と同様な傾向です。生徒の挨拶について意見をいただいています。生徒会が中心となり、職員の率先垂範の下で、さわやかな挨拶を心掛け、より良い雰囲気づくりに努めていきます。

10 職員は学習指導や生徒指導を通して、生徒と関わりを深めている。



肯定的評価が94%でI・II期と同様な傾向です。しかし、満足の割合が若干減少しています。いただいた指導方法への要望等も参考に更に改善を図っていきます。常に生徒のために教職員も学び続けていきます。

【文章記述より】

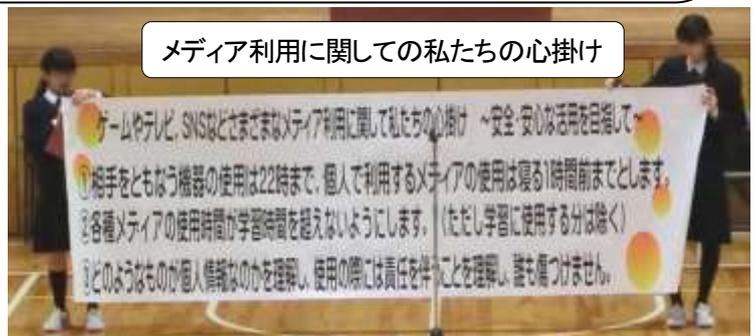
《学習面・生活面》

- ・子供との会話の中で、班やクラスの仲間と協力し合っていることや、真剣に取り組んでいることが伝わってくることもあり、学校での指導や先生方の応援が子供に正しく届いて素直に行動できる雰囲気なのだろうと、嬉しく、感謝しております。（1年保護者）
- ・先生方が、生徒一人一人の可能性を信じて接して下さるので、徐々に自主的、チャレンジ精神が出てきていると思います。（2年保護者）
- ・「いのち」の学習について、我が子はあまり話してくれませんが、附中だより第8号を拝見し、とても充実したディベート学習を経験させていただいていると感じました。他者と意見を交わしたり様々な論点を考えたりすることで視野が広がってきたのではないかと思います。自分の進路を考える上でも刺激になり未来への希望や受検勉強のモチベーションアップにつながっているようです。（3年保護者）

《メディア利用について》

- ・我が家では、中学生の間は、スマートフォンは持たせません。リビングだけでタブレットを使うことを許可していますが、親の許可を得られないと時間制限を超えての使用や、アプリの取得はできないように設定しています。それでも友達関係でのやり取りの中で、疑問に思うことがあるのが現状です。（1年保護者）
- ・スマホやインターネットの利用について、自分で時間を守り、生活に支障がないようにしてほしいです。自制することができるようになってもらいたいです。（2年保護者）
- ・インターネットの利用について自主性に任せたいところですが、そうすると利用時間がとても長くなってしまいますので強制的に制限しています。文句を言いながら一応約束を守っています。（3年保護者）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。メディア利用に関して、今年度は公安委員会を中心に生徒たち自らメディア利用に関する心掛けを作成しました。これを基に各家庭でメディアの利用についてルールづくりをお願いします。何かお気付きの点は、いつでも学校にお知らせください。



第55回新潟県中越教育美術展

＜作品介绍＞

第50回新潟県ジュニア美術展覧会



奨励賞 山後仁美



奨励賞 佐藤夏鈴



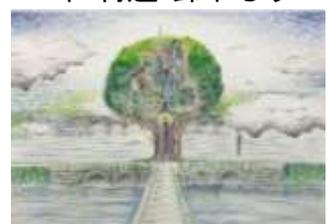
奨励賞 小林美涼



1年 会長賞
小林夏子



1年 特選 鈴木るう



2年 特選 天野利香

新潟大学教育学部附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホームページ http://www.nagaoka.ed.jp/